

# 緊急地震速報とは？

地震は、P波と呼ばれる弱い揺れのあとS波と呼ばれる強い揺れが来ます。緊急地震速報は、このP波をとらえ地震の規模や震源地を予測し、最大震度5弱以上と推測した時に強い揺れのS波が来る数秒から数十秒前に、テレビやラジオ、専用端末、パソコン、携帯電話などで素早くお知らせするものです。

震源に近いところでは、情報が間に合わなかったり、予測された震度に誤差を伴う限界もありますが、この情報を利用して危険を回避したり、素早い避難行動をとることによって被害を軽減することが可能です。

## どのように行動したらよいか？

緊急地震速報を見たり聞いたりしたあと、強い揺れが来るまでわずかな時間しかないため、身を守ることを第一に、落ち着いて行動することが大切です。また、万が一に備え訓練することも必要です。

(情報を聞いたときの具体的な行動例)

気象庁リーフレットより

<p><b>家庭では</b> 頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる あわてて外へ飛び出さない</p> 	<p><b>人がおおぜいいる施設では</b> 係員の指示に従う 落ちついて行動 あわてて出口に走り出さない</p> 	
<p><b>自動車運転中は</b> あわててブレーキをかけない ハザードランプを点灯し、 揺れを感じたらゆっくり停止</p> 	<p><b>緊急地震速報「利用の心得」</b> <b>周囲の状況に応じて あわてずに まず身の安全を確保する！</b></p> <p>緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません その短い間に身を守るための行動を取る必要があります</p>	<p><b>屋外(街)では</b> ブロック塀の倒壊等 看板や割れたガラスの落下に 注意し、ビルのそばから離れる</p> 
<p><b>鉄道・バス乗車中は</b> つり革、手すりに しっかりつかまる</p> 	<p><b>エレベーターでは</b> 最寄りの階で 停止させすぐに 降りる</p> 	<p><b>山やがけ付近では</b> 落石やがけ崩れに注意</p> 

『火は見てる あなたが離れる その時を』  
11月9日～15日 秋季全国火災予防運動



### ◆問い合わせ先

気象庁地震火山部管理課

☎03-3212-8341

気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>